

必要となる機能や施策を「ハード」と「ソフト」の両面で検討

本市においても、全国的な傾向と同様に、人口減少や少子高齢化が進むと考えられています。

しかし、将来の鳥飼地域は、市内の他の地域と比較して、人口減少や少子高齢化が急速に進み、さまざまな行政課題に早く直面することが想定されています。

そこで、鳥飼地域の現状と課題を把握、将来起こり得る行政課題を的確に見通し、数十年後の未来に向け、中長期的な視点に立った鳥飼地域のまちづくりを検討していきます。

これからのまちづくりのために、必要な「ハード（施設）」と「ソフト（施策）」の両面から検討し、分野を超えた横断的なまちづくりの考え方として、「ランドデザイン」を策定します。

「ランドデザイン」は、鳥飼地域が目指すべき将来像を、市民、事業者、行政など、さまざまな主体で共有、関わりを持つことにより、より良いまちづくりを目指すために策定するものです。

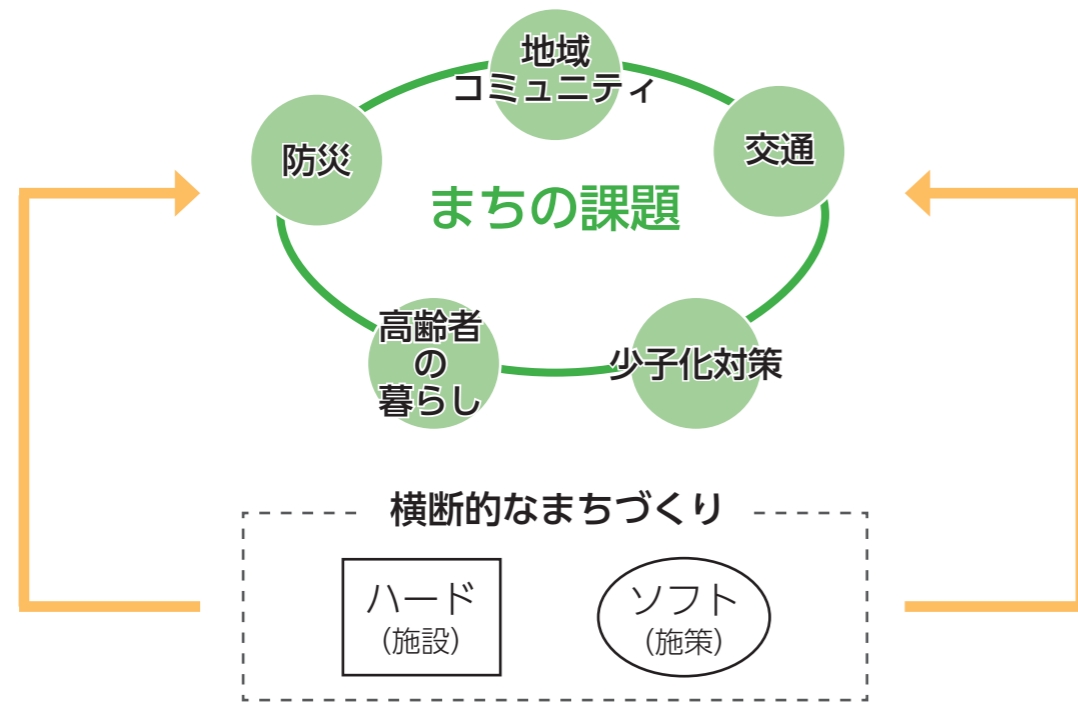
まちの課題

人口変化や少子高齢化で課題が発生することが想定

- ▽地域コミュニティ維持に支障、地域活動の担い手の確保
- ▽生活関連サービスの撤退が進み、地域住民の利便性やまちの活力の低下
- ▽空き家や空き店舗が増加し、住環境悪化の懸念

など

イメージ図

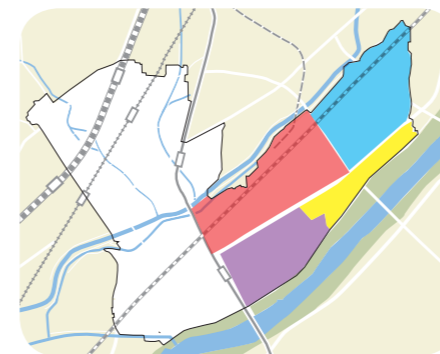


住民アンケートを実施予定

鳥飼まちづくりランドデザイン策定にあたり、市民のご意見をお聞きするため、アンケートを実施する予定です。ご家庭に調査票が届いた場合はご協力をお願いします。(無作為抽出)

とりか まちづくり ランド デザイン

未来の、鳥飼を、描く



■鳥飼小校区 ■鳥飼西小校区
■鳥飼北小校区 ■鳥飼東小校区

皆さんは自分の住んでいる地域の数十年先の未来を考えたことはありませんでしょうか。
住宅が増え、人口も増加し、道路が整備され、商店がオープンし利便性が向上するなど、目覚ましく発展していく姿は、考えるだけでワクワクすると思います。

しかし、一方で人口が減少し、空き家や空き店舗が増え生活が不便になったり、高齢化に伴い地域コミュニティが維持できなくなったりする場面も考えられます。

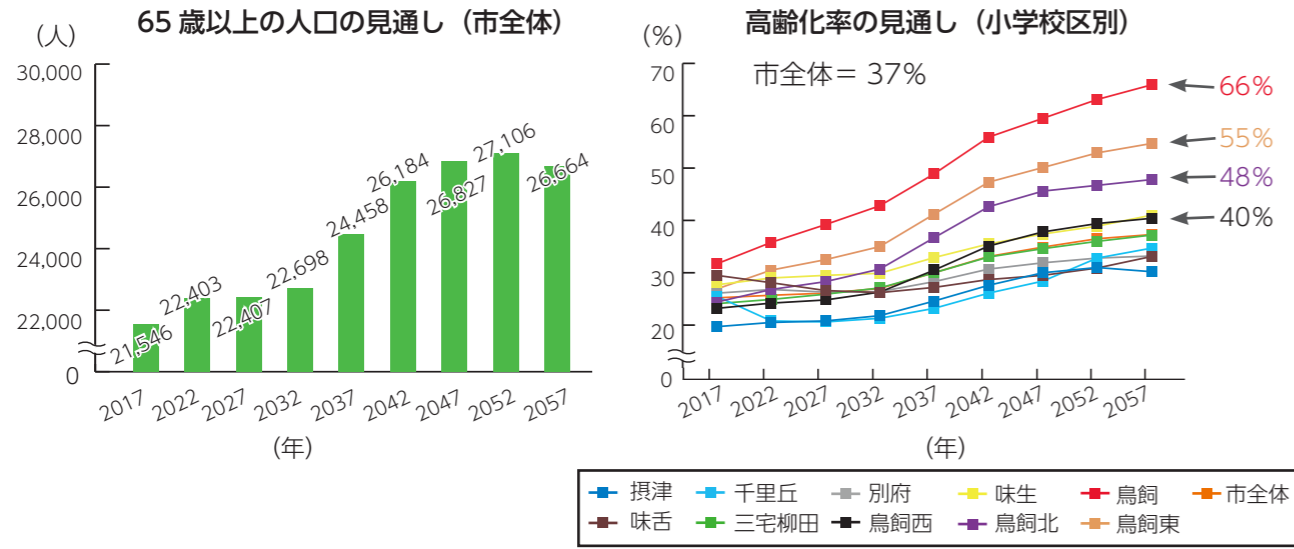
本市では、2052年ごろにかけて、高齢者人口が最大になると見込まれています。特に、現在の鳥飼地域（鳥飼小・鳥飼西小・鳥飼北小・鳥飼東小校区）は人口減少傾向にあり、今後少子高齢化がより一層加速すると考えられています。

そこで、鳥飼の産業、文化、歴史など特色を生かし、今後の鳥飼地域のまちづくりのビジョンを示す鳥飼まちづくりランドデザインを策定します。

今回は、この策定にあたり、鳥飼地域の将来人口推計やランドデザインのイメージを紹介し、当合せ 政策推進課 鳥飼地区まちづくり構想担当へ

少子高齢化のなか、鳥飼地域の高齢化率が高い傾向に

高齢化率は、鳥飼地域（鳥飼、鳥飼西、鳥飼北、鳥飼東）の小学校区が 2052 年時点で 全市の高齢化率を上回ると想定されています。特に、鳥飼、鳥飼東小学校区の高齢化率は 50%を超え、極めて高い水準になると考えられています。※高齢化率=老年人口（65 歳以上）の比率



鳥飼地域の豆知識

見どころ

産業・農業



自然



にぎわい



歴史

昭和 40 年代から 都市化がスタート

かつて田園風景が広がった鳥飼地域は、昭和 40 年代に本格的な都市化がスタートしました。

その基盤となる道路網として、鳥飼大橋が昭和 29 年に完成し、府道大阪高槻線が昭和 41 年に全線開通しました。

鳥飼西から八防方面の写真



大阪市内へ 1 時間以内 人口が急増

道路網が整備されたことで、鳥飼地域と千里丘駅を結ぶバス路線が開通し、鳥飼地域は大阪市内へ 1 時間以内で通勤できることから、人口急増が始まりました。

昭和 41 年の 5,952 人から昭和 48 年には 13,208 人と倍増したのもこの時期です。

大規模な区画整理事業を実施

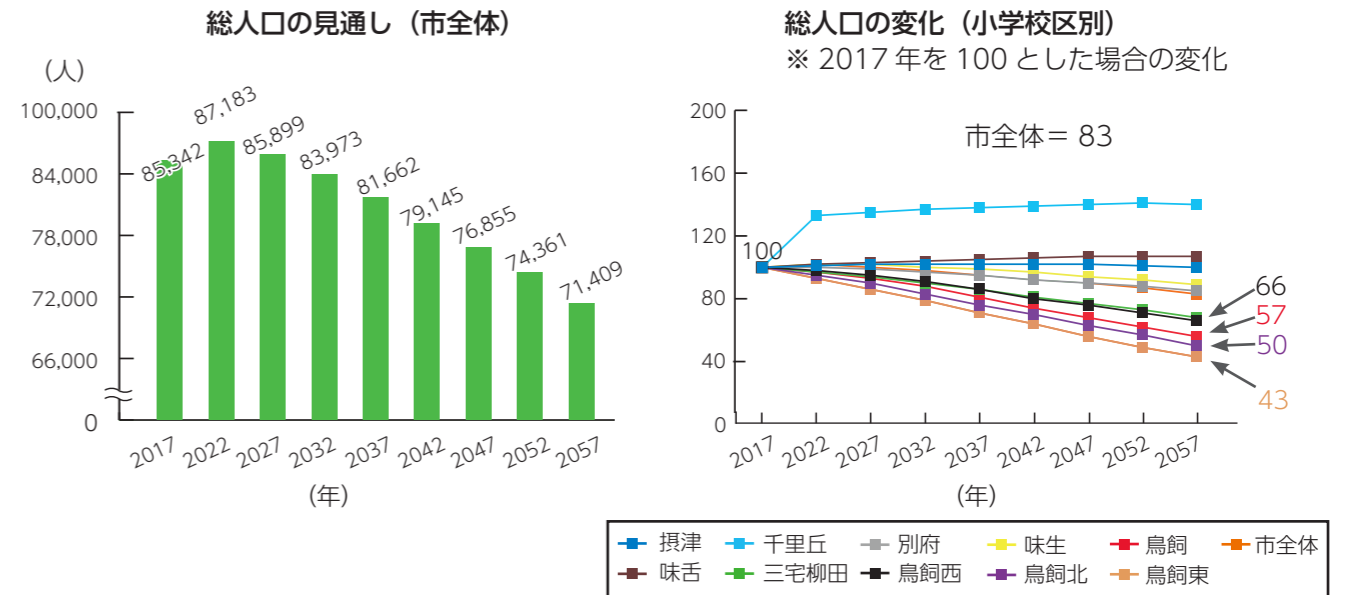
人口の増加に合わせて鳥飼地域の区画整理事業が昭和 46 年からスタートしました。計画当初、甲子園球場が約 60 個も入る広い面積の区画整理事業は、当時、府下で初めてでした。

今後の鳥飼地域の人口特性

今後の鳥飼地域の人口特性としては、次のグラフからわかるように、他の地域に比べ子どもの人口が減少し、高齢化が進むと推測されています。（出展 2040 年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書概要版）

鳥飼地域の人口減少が大きい

市の総人口は、2022 年の 8 万 7 千人をピークに減少傾向に入り、2042 年には 8 万人を下回り、2057 年には 7 万 1 千人まで減少すると想定されています。小学校区別でみると、2017 年から 2057 年にかけて、鳥飼地域（鳥飼、鳥飼西、鳥飼北、鳥飼東）の小学校区の人口が大きく減少していることがわかります。およそ鳥飼が 4 割、鳥飼西が 3 割、鳥飼北が 5 割、鳥飼東が 6 割減少すると見込まれています。



年少人口（0～14 歳）は鳥飼地域が市内でも少ない傾向に

全体として減少傾向にありますが、特に鳥飼地域（鳥飼、鳥飼西、鳥飼北、鳥飼東）の減少率が高く、子どもの人口が少なくなることを表しています。

2017 年から 2057 年にかけて、およそ鳥飼が 8 割、鳥飼西が 5 割、鳥飼北が 7 割、鳥飼東が 8 割減少すると見込まれています。

